



人へ、地域へ、そして世界へ。

久留米大学

あなたの手が未来を変える



久留米大学病院・久留米大学医療センター

看護部案内

KURUME UNIVERSITY HOSPITAL & KURUME UNIVERSITY MEDICAL CENTER

久留米大学病院は、昭和3年(1928年)4月28日に創立しました。歴史ある伝統を重んじ、医療情勢の変化に応じて、さらなる質の高い看護へと変革にも挑戦し、未来に向けて日々邁進しています。



久留米大学病院・医療センター 看護部理念



安全で質の高い看護の提供

特定機能病院、地域がん診療連携拠点病院、福岡県総合周産期母子医療センターとしての使命に加え、地域医療の最後の砦として高度先進医療の提供に努めています。

豊かな人間性のある看護の提供

久留米市は、自然豊かな環境に恵まれたところです。ワークライフバランスをとりながら、社会人として充実した生活を送ることができます。

地域と連携した看護の提供

柔軟な対応で地域医療との連携を密にした看護をすべての患者さんに提供しています。

チーム医療の推進

医師、薬剤師、栄養士など、他職種との連携や調整を行い、患者さんにとってよりよい医療を提供できるよう、チーム医療におけるキーパーソンとしての役割を担っています。

専門職業人としての自己研鑽

久留米大学医学部医学科・看護学科が隣接し、修士課程や専門看護師・認定看護師教育課程も開校しています。働きながら、生活拠点を変えることなく、キャリアアップの機会に多く恵まれています。

久留米大学病院看護部の特徴

久留米大学病院ではPNS（パートナーシップ・ナーシングシステム）を導入しています。

PNSとは2人の看護師が安全で質の高い看護を共に提供することを目的に、良きパートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、相互に補完し協力し合って、その成果と責任を共有する看護体制です。患者さんの個々のニーズに適合したサービスを、迅速、確実に提供し、日々の看護業務を補完することで、看護の質を維持・管理することができます。



久留米大学医療センター看護部の特徴

屋根瓦式教育体制

新人も、先輩も、共に学びあい成長し合える教育体制



看護部は理念をもとに「一人ひとりの人財を活かす」を掲げ、創意工夫のできる、実践力のある看護師の育成に力を入れています。ベテラン看護師の経験知を形式知に変える“SWN(スワン)研修”や退院支援教育の充実をはかるための“HOTN研修”を行うなど、質の高い看護の提供のために看護師一人ひとりが主体的に自己啓発に勤めています。

少しずつ重なり合うことで強度が増す屋根瓦のように、「教え、教えられる」ことで厚いつながりを持つチーム指導體制です。

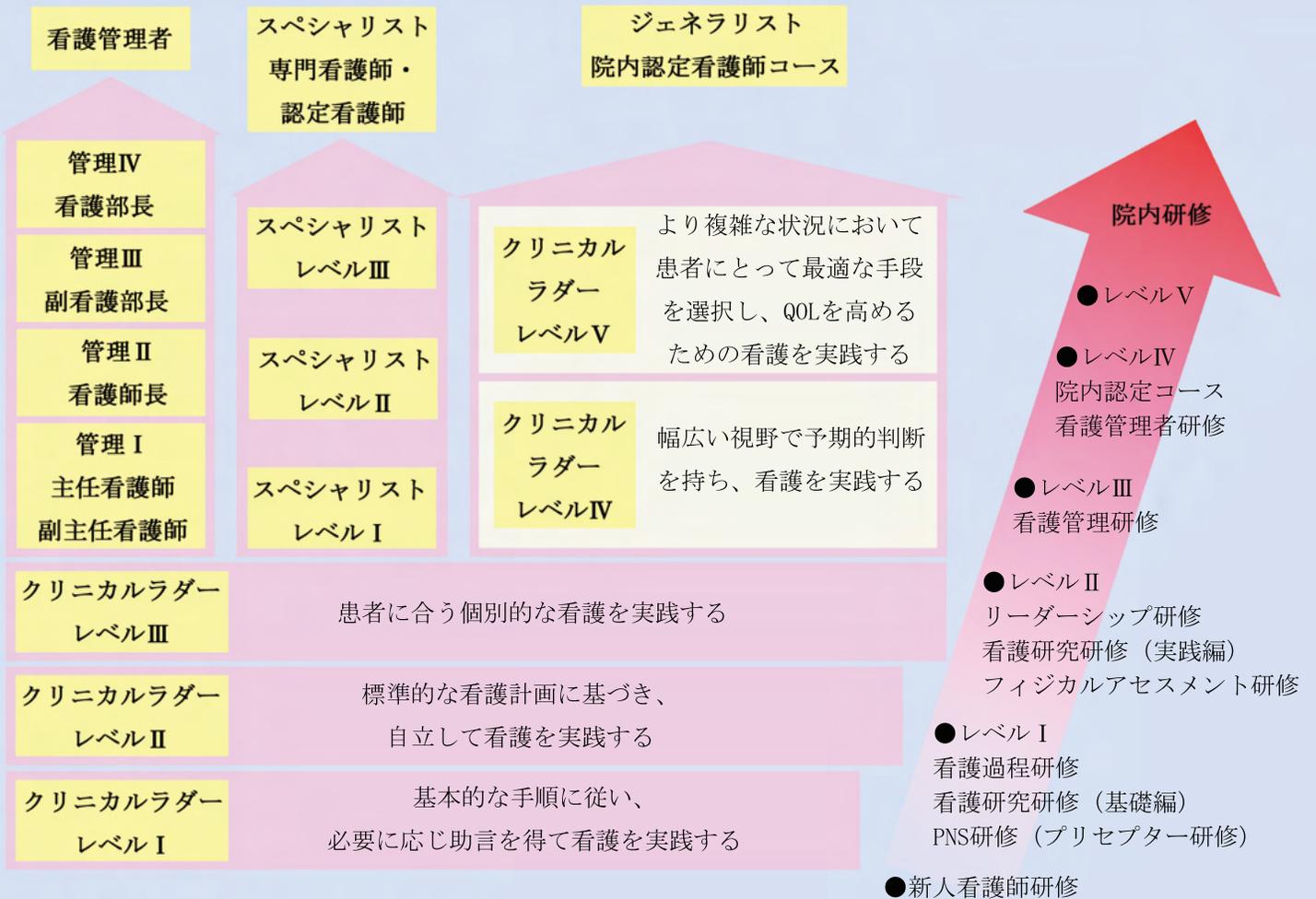
教わる側だけでなく、教える側も新たな気づきと自らの看護実践へのリフレクションの機会となり、看護職員全体の能力向上につながることができます。



キャリア開発プログラム

Azalea(ツツジ)の語源は「続き咲き木(ツツキサキギ)」だと言われており、花が次々に咲くことに由来しています。またツツジは約250種ほどの品種があり、その多様性が見る人の心を惹きつけます。

久留米大学病院看護部のキャリア開発プログラムが目指すのは「多様性」「継続性」です。看護師一人ひとりのキャリアアップを支えるため、クリニカルラダーをもとにレベル別研修を計画しています。看護師一人ひとりがアザレアのような赤や白・ピンクに彩り豊かに花を咲かせてくれることを望んでいます。





新人看護師研修では、認定看護師・専門看護師を活用した集合教育と・各部署のOJTを組み合わせ、個々の成長に合わせたきめ細やかな教育を行います。

4月 入職時オリエンテーション

5月 初期看護技術研修

9月 中期新人看護師研修

2月 新人看護師研修修了式

入職時には、久留米大学病院の看護師として、基本的な手順やルールを学びます。

看護部の方針・電子カルテ操作・防災訓練
・医療安全・感染予防など

就職後3ヶ月は、週1回の基礎看護技術の研修があります。クリニカルコーチ（新人教育担当者）が中心となって企画、認定看護師等も参加して、看護技術を習得します。また、e-ラーニングも研修前後の学習に活用しています。

血糖測定・吸引・静脈注射・輸血・麻薬輸液ポンプシリンジポンプ取り扱いなど

夜勤も始まり、さまざまな処置や多重業務の対応が増えてきます。状況に応じた的確な判断と看護実践ができるよう、知識・技術をさらに深めます。

救急看護・看護倫理・褥瘡予防
ストレスマネジメント・多重課題など

1年目最後の研修では、新人看護師研修の終了証をもらいます。1年を振り返り、2年目へ向かいます。

先輩看護師の声



フライトナース 高度救命救急センター 中島 由香理

私はフライトナースとして、救急患者のもとにいち早く駆けつけ、迅速で有効な処置を多職種と協力して行っています。救急現場という環境の中で、患者さんや家族の精神的負担は計り知れません。現場でできる大切な事は患者さんや家族の精神的ケアを行うことです。看護師として出来るだけ負担を取り除けるよう支援したいと思っています。緊迫した現場ですが、日々やりがいと充実感を感じています。



クリニカルコーチ (新人教育担当者) 西棟9階 山領 麗加

私は、クリニカルコーチとして、新人看護師をはじめとするスタッフのキャリア形成を支援するために、教育プログラムの策定や研修の企画・運営等の活動をしています。

新人教育に関して、新型コロナウイルスの影響から集合研修の実施が難しい状況が続いていますが、代わりに少人数での部署別研修を行うことで、より個別的で実践的な、内容の濃い学びにつながっています。指導の中で、新人看護師の柔軟な発想や真摯な姿勢から学ぶことも多く、日々やりがいを感じています。



院内認定看護師 IVナースインストラクター 東棟9階 五所 奈美子

慢性期看護を行う中で、患者さんに安全で安心な静脈注射を提供したいと考え、院内認定看護師「IVナースインストラクターコース」を取得しました。研修で静脈注射に関する薬剤や安全・安楽の確保、感染管理を学び、病棟看護師の継続教育に励んでいます。新人教育では、シミュレーターを使用して血管の走行や弾力を視診・触診で確かめ、患者さんに安心感を与える態度をシナリオ演習で具体的に実践します。指導者として、静脈注射に必要な知識・技術・態度の向上を促すための学習を支援することに、やりがいを感じています。



久留米大学医療センター 5階東入院棟 西田 由佳

当院は教育体制として「屋根瓦式教育」を取り入れ、少しずつ重なり合う屋根瓦のように「教え、教えられる」ことで厚い繋がりをもてるチーム指導を行っています。私は継続教育委員を担当し、看護スタッフの教育研修や能力向上に励んでいます。また、医療センター看護部認定看護師FOIN (足へのおもいをつなぐナース) として、フットケアを必要とする患者さんのケアや指導、スタッフへの指導・能力向上を目的に活動を行っています。



久留米大学医療センター 外来 横尾 かおり

私は久留米地区の地域糖尿病療養指導士 (CDEL) として合併症予防指導や医療センター看護部認定看護師HOIN (おうちへのおもいをつなぐナース) として、在宅療養支援を行い継続支援に取り組んでいます。患者さんの病態と生活環境を理解・共感する療養指導の大切さを学びながら、チーム医療を行っています。また、ハイキングやウォークラリーなど、季節毎のイベントで患者さんと交流しています。





緩和ケア認定看護師 桑野 沙紀

緩和ケアは治療や療養を支える大切な医療であり、診断時期から治療と並行して提供されます。私は緩和ケアチームの専従看護師として、患者さんに関わる医療スタッフや緩和ケアチームメンバーと協働し、患者さんやご家族が抱える様々な苦痛を和らげながら『その人らしく生きること』が出来るよう活動しています。関わる医療スタッフや部署との調整・連携、また患者さんやご家族を最も近くでケアし支えている医療スタッフのサポートも重要な役割として取り組んでいます。

手術看護認定看護師 特定看護師（術中麻酔管理領域） 三重野 智志

私は手術看護認定看護師として、患者さんが手術を決めた時から、術中、術後を通して、安心して手術が受けられ、早期回復を目指したケアの提供に努めています。術後の回復を阻害する大きな要因は、痛みや吐き気です。現在、多職種協働のスキルミックスによって術後の回復促進に向けた取り組みを行なっています。チームとして活動を行う中で、もっと麻酔や鎮痛について学びたいと思い、特定行為研修を受講しました。研修で得た知識や技術で、より一層患者さんが安心して手術を受けられるように活動したいと思っています。

老人看護専門看護師 西村 知子

私は、学生時代より老年看護に興味があり、仕事をしていく上でもっと知識を深めたいと思い、久留米大学大学院に進学しました。大学院における長期実習中は休職制度を利用し、仕事と両立しながら学ぶことができ、修了後に老人看護専門看護師の資格を取得しました。現在は、認知症ケアチームの専任看護師として週1回の病棟回診を軸に、高齢者が安心して治療を受けられるよう、病棟スタッフと共に日々取り組んでいます。看護師として、高齢者の豊かな生活史に携わることによりがいを感じています。

看護外来

<久留米大学病院>

ストーマ看護外来（皮膚・排泄ケア認定看護師）

がん看護外来（がん看護専門看護師）

リンパ浮腫外来（がん看護専門看護師）

糖尿病予防的フットケア外来（糖尿病看護認定看護師）

糖尿病透析予防指導外来（糖尿病看護認定看護師）

助産師外来（助産師）

<医療センター>

がん看護外来（緩和ケア認定看護師）

フットケア看護外来（皮膚・排泄ケア認定看護師・フットケア指導士）

心不全看護外来（慢性心不全看護認定看護師）

スキンケア看護外来（皮膚・排泄ケア認定看護師）

あなたの手が未来を築ける

Access MAP



久留米大学病院 KURUME UNIVERSITY HOSPITAL



交通機関

西鉄バス系統8(大学病院、高専方面行にて大学病院または医学部前下車)
 <所要時間>JR久留米駅から約7分、西鉄久留米駅から約17分

〒830-0011 福岡県久留米市旭町67
 TEL : 0942-35-3311 FAX : 0942-32-6278
<http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>



久留米大学医療センター KURUME UNIVERSITY MEDICAL CENTER



西鉄バス系統番号3 (信愛女学院・青峰団地行にて大学医療センター下車)
 堀川バス(大学医療センター・八女行にて大学医療センター下車)
 <所要時間>JR久留米駅から約30分、西鉄久留米駅から約15分

〒839-0863 福岡県久留米市国分町155-1
 TEL : 0942-22-6111 FAX : 0942-22-6533
<http://iryo.kurume-u.ac.jp>



職員採用情報

〒830-0011
 福岡県久留米市旭町67 久留米大学 総務部人事課
 TEL : 0942-31-7517 (直通)
 FAX : 0942-31-7919
 e-mail : jinji@kurume-u.ac.jp

久留米大学病院看護部ホームページ
<https://www.hosp.kurume-u.ac.jp/nurse/>

